

令和5年度ユネスコ関係予算（案）

予算額(案) 4,765百万円
(※事務的経費を除く)

資料2-1

ユネスコへの分担金・任意拠出金

我が国の影響力・プレゼンス向上を図るとともに、SDGs達成に向けた貢献を果たす

分担金		(百万円)
外務省	ユネスコ分担金	3,600
	世界遺産基金分担金	38
	無形文化遺産基金分担金	38
合計		3,676
任意拠出金		
外務省	ユネスコ拠出金	618
文部科学省	アジア太平洋地域教育協力信託基金拠出金	40
	ユネスコ地球規模の課題の解決のための科学事業信託基金拠出金	42
	SDGs実現のための教育プログラム戦略的支援信託基金拠出金	70
	ユネスコ「世界の記憶」協力事業信託基金拠出金	48
	ユネスコ技術援助専門家の派遣	90
小計		290
国土交通省	ユネスコ事業拠出金	44
合計		952

国内におけるユネスコ活動の推進

ユネスコ未来共創プラットフォーム事業 87百万円

世界や地域の課題解決に資するユネスコ活動の活性化に向けて、国内の多様なユネスコ活動ネットワーク拠点を戦略的に整備する。具体的には、SDGsの達成に向けた取組等を進める多様なステークホルダーの参画促進や国際の場で発信できるユースの育成、日本の国際的な発信力強化のための支援を行う。

- ユネスコ未来共創プラットフォーム事務局の構築・運営
- 国内ユネスコネットワーク拠点の戦略的整備
- ユースフォーラム及びユースワークショップの実施



SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業 44百万円

国内外で高まるESDのニーズを踏まえ、SDGs達成の担い手を育む多様な教育活動を実施・支援し、SDGs達成の担い手に必要な資質・能力の向上を図る。

- カリキュラム等の開発・実践
- 教師教育の推進
- 多様なステークホルダーとの協働による人材育成



ユネスコ「世界の記憶」に関する国内推進体制の構築 6百万円

ユネスコ「世界の記憶」の国際登録の申請が再開されたことを受けて、我が国としてふさわしい案件の選定を進めるために、「世界の記憶」の事業趣旨や、記録物を保護・活用することの重要性について、広報や研修を通じて、国民の理解促進と機運醸成を図る。